Python



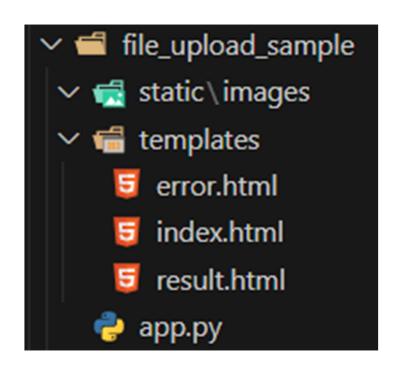
盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校

★☆★本日の内容★☆★

1. ファイルアップロード



簡単なファイルアップロードアプリを作りながら学習していきましょう。 まずは以下のように構成でフォルダとファイルを作成します。





まずは index.html にアップロード画面を作成します。

```
    ← → C ① 127.0.0.1:5000
    アップロードするファイルを選択してください。
    ファイルを選択 選択されていません
    Upload
```



◆ファイルアップロード 残りの HTML も作っていきます。

result.html

error.html



最後に app.py を作っていきます。

まずは、必要な Flask アプリとしての骨組みと import を書いていきます。 定数 UPLOAD FOLDER は static/images の絶対パスを指定します。

```
from flask import Flask, render_template, request, redirect, url_for from werkzeug.utils import secure_filename import os

app = Flask(__name__)

# ファイルアップロード先の絶対パス
UPLOAD_FOLDER = 'C://sample-python/flask-sample/file_upload_sample/static/images'

# ここにルーティングの処理を記述(以降のスライド)

if __name__ == '__main__':
    app.run(debug=True)
```

先に index.html と error.html へのルーティングを書きます。

```
@app.route('/')
def top_page():
    return render_template('index.html')

@app.route('/error')
def error():
    return render_template('error.html')
```



最後にアップロードの処理を書きます。

```
@app.route('/uploads', methods=['POST'])
def uploads():
   # 何らかの理由で request にファイルが存在しない場合のエラー処理
   if 'file' not in request.files:
      return redirect(url for('error'))
   # アップロードされたファイルをrequestから取得
   file = request.files['file']
   # ファイル名が空(何もアップロードされていない)場合のエラー処理
   if file.filename == '':
      return redirect(url for('error'))
   # ../../a.jpgみたいな名前のファイルへの対策(ディレクトリトラバーサル攻撃)
   # 不要な文字列を削除します。(なお、日本語も削除されちゃいます....)
   name = secure filename(file.filename)
   # ファイルを保存
   file.save(os.path.join(UPLOAD FOLDER, name))
   return render_template('result.html', name='images/' + name)
```